

J R サービス労働組合

ジャストニュース

No. 8 0

2 0 2 5 年 7 月 2 日

J R サービス労働組合

発行責任者 柳 楽 関

新幹線ニュースに対する見解！

サービス労組は、6月27日付『新幹線ニュース』（通算496号）で、「労働組合は組合員の賃金、雇用、諸手当などの労働条件上げて行くなど職場の環境改善を行い、働きやすい環境を構築していくために運動するのが本来の姿であり、そのためには労使協調し会社を繁栄させていく責任があります。」と述べています。そして、J S 労が発行したジャストニュースは、サービス労組の役員や組合員を批判したもので、見過ごすことはできないと主張しています。

プロパー社員の批判とは何ですか？

サービス労組が指摘するジャストニュースでは、確かに火野宮委員長をはじめ数名の役員の実名を記載しています。しかし、記載内容は批判ではなく、オープンショップにしたことで、役員の皆さんが管理者に昇進しても役員を継続できるようになったという事実です。

労働協約に混在する2つのショップ！

ジャストニュースでは、サービス労組と会社が組合員化のために、解雇条件があるユニオンショップと解雇条件がないオープンショップの2つが混在する労働協約を締結したことがおかしい（なんでやねん！？）と指摘しました。これを批判と受け取るなら、その通りです。いつでも議論に応じます。

記載内容は誹謗中傷ではないですか！

新幹線ニュースには「J R 東海の社員としての業務を放棄し」「グループ会社に土足で上がり込み」という記載があります。これは、明らかに事実と反する誹謗中傷ではないでしょうか。

プロパー社員の皆さん、どう思いますか？

新幹線ニュースには「出向者はJ R から給料が支払われているのではなく、サービスが賃金を負担している。それは、プロパー社員の皆さんが汗水垂らして稼いだお金で、プロパー社員を批判する者らに支払うにであれば、早々にお引き取りいただきたい」と記載しています。これが本当なら、出向社員は働かず遊んでいることになります。

しかし、なぜこうもヒステリックになるのでしょうか？そう言えば、鳥飼事業所の洗濯場でエアコンが追加設置された時に、サービス労組は「速報」を掲出して、実現させたのはサービス労組の成果だと宣伝しました。今まで一度も会社に提起したことも、申し入れを提出したこともないのにです。問われるべきは、サービス労組が組合員の皆さんから頂いた組合費をどう組合員に還していくのか、どのような目的に使っているのか？という事ではないでしょうか。



メールアドレス・jsrou@yahoo.ne.jp